

《キャリアイメージ》

区分	林学		林学	
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力	取得が望ましい資格等	受講すべき研修等
新規採用 	基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【本庁】 林務課、森林保全課 【地方機関】 農林水産事務所、森林・林業技術センター、県有林事務所、あいち海上の森センター </div>	【採用3年目まで】 ・林務職員としての基礎固め ・林業関係法令の基礎知識 ・治山・林道・森林整備工事の設計、施工等に関する法令、基準等の基礎知識		【農林水産部門研修】 ・新任農林水産部門職員研修 【林政研修】 ・新任者研修 【業務研修】
技師・主任 (採用後8年間)	幅広い視野や基礎的な技術・知識を習得するとともに適性を見出すため、下記の内容を経験できるよう計画的に異動を行う。 ① 2ヶ所の所属を経験する。 ② 可能な限り、本庁と地方機関を経験する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【本庁】 ・農林基盤局本庁各課 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【地方機関】 ・森林・林業技術センター、県有林事務所 ・農林水産事務所、あいち海上の森センター </div> </div>	【採用8年目まで】 ・治山・林道・森林整備工事の設計、施工等に関する法令、基準等の専門知識、指導・監督能力、設計・積算能力 ・安全作業技術、間伐技術など普及指導に必要な専門知識・技術	【採用8年目頃まで】 ・林業普及指導員	・測量等基礎研修 ・あいち森と緑づくり事業業務研修 ・治山初級業務研修 ・林道初級業務研修 ・林地保全業務研修 ・現場監督研修
主任級 (9年目以降) 	職務分野の偏りが無いように幅広い職務経験を積み重ね、適性を見出すとともに、実務の中心的役割を担う職員を目指す。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 森林計画、林業・木材産業の振興対策、木材利用の推進 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 林業技術の普及指導、試験研究 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 治山・林道、森林整備、緑化推進 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> あいち森と緑づくり </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 林地保全 </div> </div>	【採用9年目以降主査級昇任まで】 ・幅広い職務経験 ・実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力		・造林・間伐事業業務研修 ・森林病虫害防除業務研修 ・森林計画業務研修 ・林道中級業務研修 ・治山中級業務研修 ・新任林業普及指導員研修
主査級	課題を設定し自ら取り組むことにより、林学職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> ○本庁と山間地域・都市部の地方機関を経験 ○実務経験を通じ林業の専門能力・技術力を修得 ○地域の課題に適切に対応できる企画・調整・指導能力を修得 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> ○可能な限り森林・林業技術センターで長期に研究に従事 ○高い専門性と高度な技術を修得 ○職員の適性に留意しながら、農林水産事務所を経験 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> ○地方機関において現場を経験 ○設計・検査・現場管理等の専門能力・技術力を修得 ○本庁を経験し企画・調整・指導力を修得 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> ○本庁と地方機関を経験 ○他局との調整能力や県民への情報発信能力を修得 ○市町村担当者や森林所有者との交渉能力を修得 </div> ↔ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> ○本庁と地方機関を経験 ○県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力を修得 ○許認可申請者に対する適切な指導力を修得 </div> </div>	・県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力 ・許認可申請者に対する適切な指導力		【林政研修】 ・主査級研修 【業務研修】 ・検査員研修
課長補佐級 (主任主査)	林学職として、高い専門知識・技術力と高度な企画・調整能力を持ち、総合的な視点から判断し行動することができる	・県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力 ・森林、林業に関する技術面での専門知識		【林政研修】 ・課長補佐級研修
課長補佐 (グループ班長)	グループ班長として、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務推進するとともに、人材育成など組織マネジメントを行う。	・災害発生等緊急時における対応力 ・「食と緑の基本計画」等の県が策定する計画における企画力		
備考 (その他関連措置)				